

西日本豪雨災害(平成30年7月)



道路が寸断!



応急復旧工事



復旧工事完了



きれいな道路に!

災害に負けない!強い街へ。

「オール愛媛」で復旧・復興が
着実に進んでいます。

令和2年7月豪雨災害



災害が発生!

道路が寸断!



建設業者が駆けつけ...

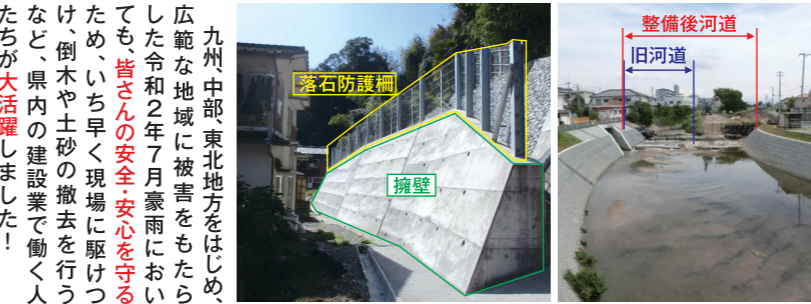


応急復旧完了



いち早く復旧!

平成30年7月の西日本豪雨では、県内各地で道路や橋が流されたり、河川の堤防が壊れたり、土砂崩れや浸水被害など、私たちの暮らしに大きな影響と被害を与えました。災害から2年が経過し、壊れた道路の斜面や堤防の復旧工事などが着実に進んできています。
また、今後発生が予測される南海トラフ地震や台風、集中豪雨等による風水害など、災害に負けない強い愛媛県をつくるため、堤防や護岸のかさ上げ工事、土砂災害対策、緊急輸送道路や避難・救援道路などの整備を進めており、地域の建設業者が全力を挙げて頑張っています。



落石防護柵

擁壁

整備後河道

旧河道



私たちが愛媛を守ります!

ひめ建新聞

令和2年度第1号
発行:愛媛県・愛媛県建設産業団体連合会
TEL.089-943-5324

えひめの建設産業の魅力を発信!
「ひめ建新聞」は、みんなの身近にあるけれどあまり知られていない、地域の安全と安心を支える建設業の魅力や役割について紹介していく新聞です。
九州・中部・東北地方をはじめ、広範な地域に被害をもたらした令和2年7月豪雨においても、皆さんの安全・安心を守るため、いち早く現場に駆けつけ、倒木や土砂の撤去を行うなど、県内の建設業で働く人たちが大活躍しました!



過去のひめ建新聞はこちらをチェック!



愛媛の未来を創り、暮らしを守る!!!

建設産業のお仕事を紹介!

建設産業は、私たちが生活していくうえで必要なものや、より豊かのためのものをつくる、地域に欠かすことのできない重要な仕事です。人や物の円滑な移動のための拠点である空港や港湾、鉄道施設、日々当たり前利用している道路などの交通に関わるもの、災害から人々を守るためのダムや堤防、私たちが毎日を過ごす家や学校、病院などといった建物。

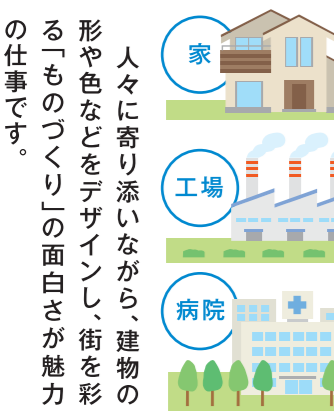
土木の仕事

道路やトンネル、橋、河川やダム、上下水道など、快適な暮らしに欠かせない交通施設や生活インフラの整備、災害から私たちの命と財産を守る防災施設などを造ります。

建築の仕事

私たちが日々を暮らす住宅や学校、ビルや工場など、豊かで快適な生活と産業を支える建築物を造ります。

これらはすべて建設産業で働く人たちが力を合わせてゼロから造り上げたものであり、建設産業は私たちの暮らしを守り、これからの未来を創っていく、誇りと魅力にあふれた仕事です。



建設産業には、様々な役割の仕事があります!

建設工事には、様々な役割をこなす専門職種の人々が参加し、それぞれの技術を組み合わせて、道路や橋、建物などを造り上げます。

空調衛生設備工事
建物の冷暖房設備やトイレ等の衛生設備をつくる、快適な暮らしを支える仕事。

電気工事
電気に関するあらゆる設備に携わり、私たちの生活に電気を届ける道をつくる仕事。

鉄筋工事
強度を高めるため、コンクリートの中に骨組みをつくる、目には見えない大切な仕事。

測量業務
土地の面積や形状などを測定し、地図や図面をつくる、土木工事の基礎となる仕事。

塗装工事
建物等の最後の仕上げ。建物を保護し、美しい景観や快適性を向上させる仕事。

左官工事
1mm単位の高い精度で床や壁、柱などを仕上げる職人の腕が光る仕事。

このほかにも、道路の舗装工事など役割ごとに多種多様な仕事があります。

建設業の仕事を詳しく紹介



をチェック!! アクセスはこちら



建設クイズのこたえ

Q1 四国一の長さを誇る寒風山トンネルの長さは何mでしょう?
正解 ③ 5,432m
西条市と高知県を結ぶ寒風山トンネルは、四国一の長さを誇り、無料で走行できる一般道路のトンネルとしては、日本一の長さとなります。

Q2 次のうち、建設用語はどれでしょう?
正解 ① ウマ
建設用語で「ウマ」とは、足場用の板や角材を架け渡す4本足の台を指します。

Q3 建設業で働く日本の職人さんは約何人いるでしょう?
正解 ③ 324万人
労働力調査(R1暦年平均)によると、全国で約324万人の職人(技能労働者)の方が建設業で働いています。